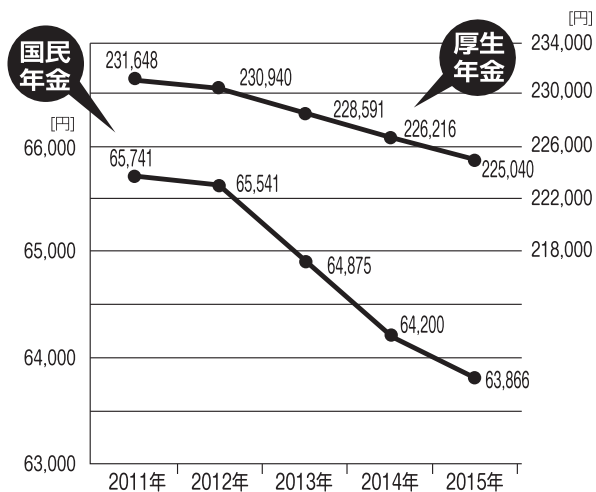




ひどい! どさくさ国会で 年金切り下げ

国民年金は2万2500円
厚生年金は7万8000円 **減額**

2015年10月まで段階的に



※国民年金は満額の場合

※厚生年金は夫が平均年収で40年就業で
妻が専業主婦の場合 (年金者組合試算)

この10年来、物価スライドによって年金は下げられ続けます。2000年に10万円だったとは、いま現在9・78万円にまで落ち込んでいます。それなのに、3年間で2・5%切り下げた後も、その翌年からはデフレ下での「マクロ経済スライド」という制度で毎年0・9%以上、少なくとも10年先まで下げ続けることが計画されています。

際限なくつづく年金切り下げ

政府は、10年以上も昔、物価指数が下がったときに、高齢者の生活と経済への悪影響に配慮し、年金を下げなかったことをいまごろ持ち出して「もらいすぎ」と大宣伝しています。しかし、この分は物価が上がったときに解消すると約束していたものです。暮らしも経済もさらにひどくなっているいま、「もらいすぎ」とはとんでもない言いがかりです。

「もらいすぎ」という言いがかり

来年の10月から3年間で年金を2・5%も切り下げる法律が、11月16日の国会最終日、解散風が吹き荒れるどさくさの中で成立しました。高齢者の40%以上、女性は80%以上が年収100万円未満です。医療・介護保険料や税金は上がり続け、消費税も上げられるなかで、さらに年金を減らせば、生活できない高齢者が増え続けます。

暮らしを無視した暴挙!

最低保障年金制度を

全日本年金者組合

2012年11月

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20
天翔大塚駅前ビル
TEL03-5978-2751 FAX03-5978-2777
E-mail: honbu@nenkinsha-u.org

あなたも
年金者組合に

政治を変える絶好のチャンスです

消費税で ダブルパンチ

高齢者の負担増は年金1カ月分相当
年金月20万円75歳以上の場合

			給付減	負担増
2012年	4月	年金減額	600円/月	
	10月	医療・介護保険料		900円/月
2013年	10月	年金減額	2,100円/月	
2014年	4月	消費税率8%に		4,200円/月
	4月	年金減額	2,000円/月	
2015年	4月	年金減額	1,000円/月	
	10月	消費税率10%に		2,750円/月

給付減: 68,400円/年 負担増: 94,200円/年

負担計 **16万2600円** 中央社保協資料より
年金者組合作成



国民いじめの 社会保障つぶし

暮らしを
壊しつつけてきた
政治

年金を減らす一方、医療・介護保険料や税金は上がりっぱなしです。政府は、70〜74歳の医療費負担を1割から2割に上げようとしています。

非正規雇用をふやし、賃金も切り下げ、その結果、生活保護受給者が多くなると保護基準を低くする、こんな政治はごめんです。

このままでは
暮らしも経済も
お先真っ暗

原発事故の収束はほど遠く、大震災の復興も遅々として進みません。農業だけでなく、医療に自由診療を持ち込むTPP参加もやろうとする。オスプレイの低空飛行もアメリカの計画を鵜呑みして抗議一つできません。いままでの政治がつづけば、先の見通しは暗くなるだけです。

消費税増税を止め、社会保障を充実する国会をつくりましょう。